

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	梅が丘市民センター
開催日	9月27日(土)	開催時間	19:30~20:50 (1時間20分)
参加者数	34名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

- ・ 地区代表区長幹事
- ・ 市長【19：35 ～ 19：50】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

- ・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【19：55 ～ 20：20】
- ・ 質疑【20：20 ～ 20：50】

Q（参加者）内容があまりにも総花で抽象的。今後具体的な計画ができた段階で質問したいと思う。梅が丘は丘陵地にある団地で、地形的に防災面に不安がある。また駐在所もなく、防災、防犯面、安全という観点から今後検討いただきたい。

A（市長）具体的な施策は12月頃を目途に数値目標も入れてとりまとめ、公表したいと考えています。防犯、防災面については、4月の機構改革で担当をつくり、条例の制定に向けて準備しています。条例制定後、地区別の組織づくりを予定しています。阪神淡路大震災では職員の60%しか連絡がつかない状況で、淡路島、長田区など地域の防災組織がしっかりしているところは早く復旧しました。職員が対応するのは当然ですが、地域の中のことは地域で対応できるような組織づくりを進めたいと考えています。

Q（参加者） 各地域でまちづくり委員会が組織されているが、市の職員が中心になって進めているところはきっちりしたかたちができているが、地域によって差があると思う。勉強会など、こういう仕組みで進めていくのだということを地域住民がもっと理解してから、地域におろしていくというステップが必要だったのでは？

昨年、女性模擬議会に参加し、継続して実施してほしいと要望していたが、機構改革で組織が変わり、つながりがなくなってしまった。結局、1回きりのイベントに終わってしまったのでは？

緑と文化を生かした観光の活性化をお願いしたい。地域的にも、近畿と中部の中継点であり、これらの特性を生かしていけば、もっとよくなると思う。

A（市長） 14 地区とも、すべて推進チームとして職員がサポートしています。

議会形式のものではなく、議会の全員協議会室でフリートークを 1 月末か 2 月上旬に計画しています。前回とまったく同じ参加者とするのではなく、半数を新しいかたとして実施する予定です。これまでは生涯学習で担当していましたが、今年は専門の部署を設置し、そこで担当しています。

自然、文化を生かした交流は、まさにスロータウン、スローライフの考え方で、名張の大きな資源です。名張は江戸川乱歩生誕の地、終焉の地である東京都豊島区との文化交流を予定しています。また木津川の下流域である淀川周辺の子どもたちが、「きれいな水をありがとう」という感謝の気持ちをこめて、長瀬に植栽をしてくれます。栗や柿など実のなる木を植えてもらおうと考えています。名張の子どもたちも大阪などに出かけていき交流していきたいと考えています。

Q（参加者）まちづくり協議会は初年度でとまどう時期でもある。協働ということで民間の資産、ボランティアなどがあるが、行政の資産を利用するには規則など制限があり有効利用しにくい。協働という新しい体制を進めていくには、規則の見直しも必要。施設、パッカー車などを有効利用するため、ある程度幅を持った対応をしていただきたい。

A（市長）条例、規則なども見直していかなければならないと思います。また、施設などもおまかせしたいと考えており、例えば地域の中の公有地もポケットパーク的なものをつくっていくというのであれば、年間いくらの維持費で地域におまかせするなど協働の仕組みを考えており、整理しているところです。パッカー車なども利用いただいていいと思います。担当者に断られた場合、担当者は忠実に担当としての答えをしているのですが、見直していかなければならないと思いますので、ご一報ください。

Q（参加者）8 ページ、市民活動推進プランについて、NPO、ボランティアの育成、支援や地域通貨の導入などについて書かれているが、行政はどういう育成、支援をしていくのか。

A（市長）今年度市民活動支援センターを立ち上げる準備を進めています。ボランティア、NPO も無償では長続きしません。支援センターに審査委員会、運営委員会のようなものを設置し、各団体に登録していただき、例えば年間 100 万円ずつ支援するというようなことを考えています。また、市でリサーチが必要な場合、センターを通じて市が依頼し、納品していただいたものをセンターでチェックするということも考えています。市民と行政の窓口として、来年 4 月にセンターを立ち上げる予定です。

また、地域通貨については、来年モデル地域でコミュニティーバスを走らせる予定ですが、その中でも利用していきたいと考えています。地域福祉を推進していくうえでも、例えば奉仕に対して 1 時間 1 ナッキーということで支払い、それを別のところでお使いいただくというようなことを考えています。

Q（参加者）支援センターは、社協と同じ仕組みのものができるのか？

A（市長）社協も 1 団体として登録していただきます。そういった仕組みについては整理して進めていきます。